

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	グローバルコンサルティング会社の業務
調査日	2021年10月27日(水) 14:00~16:00
調査先	株式会社グローバルジャパンコンサルティング 株式会社グローバルジャパンネットワーク
担当教員身分・氏名	教授 野間口隆郎
授業科目/学部企画名	訪問調査(「企業訪問」)
参加学生数(学年)	1年生12名、2年生16名
調査趣旨・目的	コンサルティング会社の全体像、業務内容を理解し、日本の現状を把握しながら海外への事業展開等グローバルなアプローチについての業務を聞き、質疑応答を行う。
調査結果	<p>熊本浩明代表取締役社長より、事前に集めた学生からの質問の回答をいただき、その後途中質疑応答の時間を織り交ぜながらコンサルティング会社の事業内容の大枠を説明していただいた。</p> <p>コンサルティング会社に求められる人材についての質問に対し、ベースに好奇心、想像力、チャレンジ精神がありそのうえでタフネスであり物事をロジカルに考えられる人材であり、英語はマスト、IT やプログラミングの知識も最近では注目されている、との回答をいただき今後の効果的な自己投資につながる貴重な知識を得ることができた。</p> <p>続いてコンサルタントの役割についてお話しされたが、クライアントの規模や強み等を分析したうえで情報を多面的に見ながらターゲットを選別していくことや、海外展開をする際に壁となる国によって異なる文化や法、ビジネススタンダードによるカルチャーギャップに対する対応等、同社の仕事の難しさを改めて認識した。</p> <p>また、実際に活用している同社のグローバル経営管理ツールを見せていただいた。現地の会計システムが自動的にクラウドに取り込まれ細かく財務状況を分析できるといったもので例えば限界利益分析、費用分析、売上データ等をベースに海外子会社と連携を取ることで、遠隔でのミスコミュニケーションの障害を少なくし質の高いディスカッションが期待できるもので、その機能性は学生の関心を刺激した。</p> <p>最後にコンサルタントのヴィカス クマル バフナさんがコンサルタントになった経緯や日本で働いている理由などを英語でお話しされた。今回の訪問はオンライン上ではあったが、内容の濃い講義内容と充実した質疑応答のもと、有意義な企業訪問が行えたと思う。</p>

ご担当者様からお話を聞く学生

